

第34回東日本選手権兼第34回東北軟式野球選手権秋田県大会実施要項

1. 主 催 秋田県軟式野球連盟
2. 主 管 秋田県軟式野球連盟本荘由利支部
3. 後 援 秋田県 由利本荘市 由利本荘市教育委員会 (一財)由利本荘市スポーツ協会 (株)秋田魁新報社
4. 会 期 令和8年9月5日(土)～6日(日) 原則雨天順延
5. 会 場 由利本荘市「水林グリーンスタジアム」「鳥海野球場」「サンスポーツランド岩城野球場」「矢島多目的運動広場」
6. 出場チーム 令和8年度一般A登録チームとする。
7. 出場資格 (1)全日本軟式野球連盟規程第6条第1項、第2項の一般登録チームであること。
(2)所属支部長の推薦を受けたチームであること。
(3)1チームのメンバーは、監督、主将を含め10名以上25名以内とする。
(4)ベンチ定員は上記(3)の他にチーム代表者、マネージャー、スコアラー、トレーナー(有資格者)の各1名とする。
8. 適用規則 最新年度公認野球規則、2026年度版競技者必携、全日本軟式野球連盟諸規程および別に定める特別規則を適用する。
9. 使用球 全日本軟式野球連盟公認球(トップ)M号を使用する。
10. 参加申込 (1)一般A登録チームは、所属支部に7月31日(金)までに出場意思を報告すること。
(2)出場されるチームには、競技者登録システム「野球ねっと」に登録している担当者宛に、大会参加申込の招待メールが送られる。チーム担当者は「野球ねっと」を通じて大会参加申込申請を行うこと。申込締切期日は8月21日(金)17時までとする。
(3)大会準備、プログラム作成等の関係上申込期日を厳守のこと。
(4)監督が選手兼任である場合には、選手欄に監督の情報を記載すること。また、監督が選手兼任である場合には、監督を含む25名以内で選手の登録すること。
(5)出場選手登録提出後は、選手の追加、変更および背番号の変更は一切認めない。
11. 監督会議 監督会議は行わない。
12. 組合せ抽選 組合せ抽選は、県連盟役員立ち合いの上、8月県連盟役員会で代理抽選を行う。決定後に所属支部より組み合わせ表を連絡します。
※代表チームは、競技者必携を熟読のうえ参加すること。
13. 開始式 「水林グリーンスタジアム」の第一試合に出場する2チームを対象に開始式を行う。
14. 表彰 優勝…賞状、優勝旗 準優勝…賞状
15. 参加料 1チーム30,000円(大会当日、試合会場の大会本部に納入すること)
16. 宿泊の斡旋 宿泊の斡旋は致しませんので、各チームで手配願います。
17. その他 (1)出場チームは必ず背番号(0番から99番まで、監督30番・主将10番)および左袖に県名を付けること(市町村名は不可)。なお、主将は「Cマーク」をユニフォームの右袖または前面に限り掲出できる。
(2)本大会の優勝旗は、前年度優勝地区代表(横手支部)が責任を持って持参すること。
(3)参加選手は、マイナ保険証、その他これに準ずるものを持参のこと。
(4)捕手は、危険防止のため全日本軟式野球連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガースを着用のこと。
(5)打者・走者・次打者およびベースコーチは、競技者必携に記載のヘルメットを着用のこと。

こと。

- (6) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手はファールカップを着用すること。
- (7) 木製バット以外は、全日本軟式野球連盟公認バットであること。
- (8) 本大会は、指名打者制度を採用することができる。(競技者必携「指名打者の取り扱いについて」参照)
- (9) 得点差によるコールドゲームを採用する。(7回以降7点差)
- (10) 延長戦並びにタイブレーク方式の採用について。
 - 9回を完了して同点の場合は、健康維持を考慮し、次の方法により勝敗を決める。
 - 試合開始後3時間を経過するまで延長イニングを行う。3時間経過後も同点の場合は、タイブレーク方式により勝敗を決する。
- (11) チームの責任は、チームの代表者または責任者において負うものとする。
- (12) 優勝チーム・・・東日本大会 10月30日(金)～11月3日(火) 茨城県水戸市に推薦する。
準優勝チーム・・・東北大会 10月17日(土)～18日(日) 岩手県陸前高田市に推薦する。
- (13) 大会の問い合わせ
 - 秋田県軟式野球連盟 理事長 伊藤一彦 (090-8787-8741)
 - 秋田県軟式野球連盟本荘由利支部 事務局長 田口 渉 (090-2276-7632)